

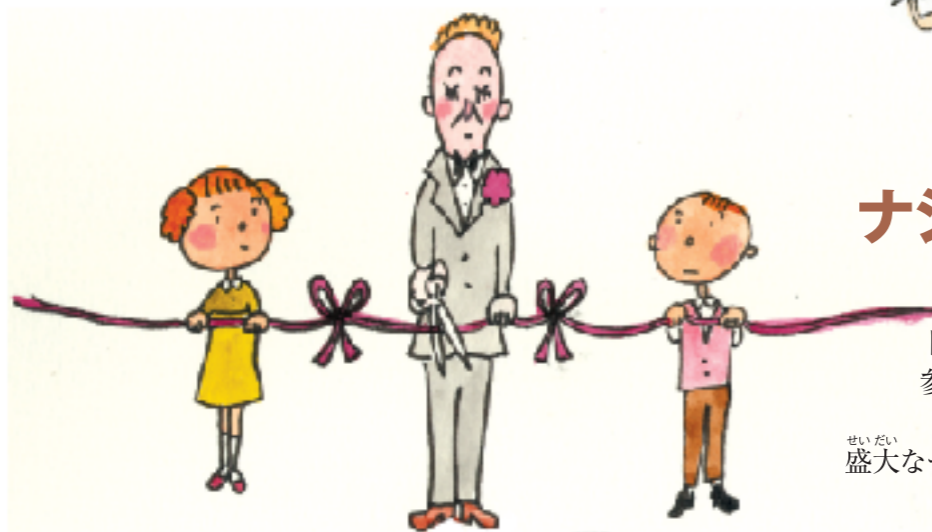
# 愛・地球博が結ぶ、世界の国とのフレンドシップ

「愛・地球博」には、世界中のひとがやってくる。万博が縁で、たくさんの国のひとたちが知り合って友達になれたらどんなに素敵だろう。万博が終わった後も続いていくような交流ができればいいね。



## “一市町村一国フレンドシップ”は、

外国から参加する人たちを、私たちの地域みんなでもてなそうという試み。愛知県の市町村が、参加国とペアになって交流する。



## ナショナルデーの応援

開催期間中に設けられた参加国のナショナルデーを、一緒になって盛り上げる。盛大なセレモニーなどが行われる予定。

## 地域での交流

手紙を書いたり、その国の食べ物を味わったり。身近なことからも交流は始められるね。



## EXPO交流大使を任命!

それぞれの市町村で、交流のシンボルになるEXPO交流大使が選ばれるよ。



## '02年のサッカーW杯で カメルーン代表の キャンプ地になった

大分県中津江村 坂本休村長のお話

カメルーンサッカーチームを迎えるため、保育園から百歳になる方まで村民コソツって、歓迎準備に取り組みました。たくさんのボランティアの応援ももらいました。そしていよいよ到着と楽しみに待ったその日が来ましたが、一日遅れ二日遅れ、とうとう四日遅れました。それでも初めてのことでかかと、よく分からないけど、ワールドカップって素晴らしいと、待ち続けました。そして五日目の朝3時20分に到着しました。

カメルーンの選手一行も、村の人々も、疲れも眠さも忘れて喜び合いました。小学生全員でつくった折り鶴を贈り、チーム一行も元気になりました。村を出発する前夜には、中学生がカメルーン国歌を演奏し、小学生の花笠音頭の踊りには選手も一緒になって踊りました。遠い緑と太陽の国・カメルーンとの友情の歴史が生まれました。

ワールドカップって素晴らしい。万国博も素晴らしい。愛知のみなさん、がんばって下さい。



カメルーンの子どもを抱く坂本村長。今も交流が続いている。

憧れの選手が  
私たちのまちに来てくれた!



'98年の長野オリンピックや、'02年のサッカーW杯での外国との交流は、テレビや新聞でも取りあげられて話題になった。初めて聞く国も多かったよね。



サポーターと一緒に応援!